

CHARGE

安全・快適な整備環境づくりを目指して

進む「リスクアセスメント」への取り組み

労働安全衛生法の改正により、リスクアセスメントの実施が努力義務として定められています。^{*}
 リスクアセスメントとは、業務に起因する危険性や有害性(リスク)を評価(アセスメント)することで予防策の検討・実施を行う、「予防先取り型」の安全衛生対策です。作業現場に潜んでいる危険の源をできるだけ取り除き、労働災害が生じない快適な環境づくりを目的としています。
〔*労働安全衛生法第28条の2 (事業者の行うべき調査等)による〕

自動車整備業における労働災害の発生状況

自動車整備業の労働災害の特徴としては、事故の型別から「はさまれ、巻き込まれ」「墜落、転落」、「飛来、落下」で約5割を占める状況となっています。また労働災害に至らないまでも、職場には普段気づかない潜在的なリスクが数多く存在しています。労働災害の現状を踏まえ、職場のリスクを低減する取り組みが重要となります。



リスクアセスメントの実施ステップとは？

リスクアセスメントは、危険性を予測し、そのリスクを低減する一連の手法です。詳細な実施ステップは次の通りです。

リスクアセスメント実施ステップ

- 1 ステップ **危険性または有害性(リスク)の特定**
 作業手順などをもとにリスクを把握し、発生のおそれのある災害を想定しながら特定します。
- 2 ステップ **リスクの見積り**
 リスクの大きさを見積ります。
 ① 労働者がリスクに近づく頻度
 ② リスクに近づいたときに、回避できない可能性
 ③ リスクによって発生する、負傷又は疾病の重篤度
 この3つの要素からリスクポイントを算出し、リスクの優先度を決定します。
- 3 ステップ **リスク低減措置の検討及び実施**
 リスクの見積り結果を踏まえ、リスクについてどのような低減措置が必要か検討し、対策を実行していきます。
- 4 ステップ **実施状況の記録と見直し**
 対策後の想定リスクの見積りを算出。また、適切な取り組みを管理できていたかどうか見直しを行います。

リスクの見積り

例 リフト使用時、車両受台が破損したままリフトアップしてしまい、車両が落下してケガをする。

① 頻度	+	② 可能性	+	③ 重篤度	=	リスクポイント	リスク
2		4		10		16	IV

① 労働者がリスクに近づく頻度

頻度	点数	内容の目安
頻繁	4	10回程度に1回
時々	2	50回程度に1回
ほとんどない	1	100回程度に1回

② リスクに近づいたときに、回避できない可能性

可能性	点数	内容の目安
極めて高い	6	危険に気がついたとしても、誰もが回避できない
高い	4	危険に気がついたとき、回避できないことが多い
低い	2	危険に気がつけば、回避できることが多い
極めて低い	1	危険に気がつけば、ほぼ回避できる

③ リスクによって発生する、負傷または疾病の重篤度

重篤度	点数	災害の程度・内容の目安
致命傷	10	死亡や永久的労働不能につながるが、障害が残るが
重傷	6	休業災害(完治可能なか)
軽傷	3	不休災害(医師による措置が必要なか)
軽微	1	手当て直ちに元の作業に戻る軽微なか

※加算して得られたリスクポイントから、「リスク」が決定します

リスク	点数(リスクポイント)	優先度
IV	12 ~ 20	直ちにリスク低減措置を実施する必要がある。(直ちに作業を中止または改善する。)
III	9 ~ 11	速やかにリスク低減措置を実施する必要がある。(早急な作業の改善が必要です。)
II	6 ~ 8	計画的にリスク低減措置を実施する必要がある。(作業の改善が必要です。)
I	5 以下	必要に応じてリスク低減措置を実施する。(残っているリスクに応じて教育や人材配置が必要です。)

メンテナンスサービスと併用することでより一層の効果を

リスクアセスメントは、日頃行っている安全対策と一体的に活用することでより一層有効なものとなります。事故を未然に防ぐためのリフト点検をはじめ、各機器の保守点検や予防整備など、プロによる正しい点検を実施することで安全性のさらなる向上が期待できます。大切なのは事故を発生させない仕組みづくりです。自主的な安全対策を強化し、快適な整備環境づくりを推進していきましょう!



群馬日野自動車株式会社 吉岡テクノセンター

いま注目!
のショップ訪問

群馬県北群馬郡吉岡町大久保2227-1
Tel 0279-20-5311



取締役
黒岩 永好 様



サービス部
小倉 章 様

吉岡テクノセンターは、30年間使用されていた渋川テクノセンターに代わる拠点として、吉岡町に新築オープンした誕生間もない整備工場です。昨年12月20日に完成し、今年の1月5日に竣工、本格的に稼働しはじめました。吉岡テクノセンターの商圏は渋川市・高崎市と前橋市の一部で、想定保有母体は4,700台です。広い敷地に整然と整備機器が並び工場はとても明るく、店内はとても居心地がよいですが、それは新設だからというだけではありません。そこには吉岡テクノセンターの“こだわり”が込められているのです。今回は、そんなこだわりとアイデアがあふれる、吉岡テクノセンターの魅力をご紹介します。

使いやすさを第一に、最新の設備と工夫を盛り込んだ大型工場

■コンセプトは「最新の設備で広域に対応できる工場」

吉岡テクノセンターは、車検ストール、洗車ストール、整備ストール7台の計9ストールを構える大型工場。多くの工場を見学・参考のうえ、厳選した整備機器が備え付けられています。取締役の黒岩さんは、「商圏の拡大を期待して移設したわけですから、保有母体が増加しても十分お客様のニーズに応えられるだけの、最新鋭の整備機器を導入しました。どれもスピード・効率化・利便性の3要素を重視した機器ばかりです」と語り、万全の受け入れ体制をアピールしてくれました。

■作業性と機能性をカギに選び抜いたANZENのリフト

機器の選定の中でも、特に注力したのがリフト。サービス部の小倉さんはこう話します。「様々な工場を見学し、検討した結果、4柱式“ツインパワーリフト”を導入しました。2台同時にメンテナンスできるうえ、トレー



4柱式“ツインパワーリフト”は、車両に応じて様々な使い分けられる

ラーの入庫にも対応できるという使いやすさに、当センターも納得したわけですね。

また、3分割フロアリフトを2基導入した理由については、「極めて利便性が高いからです」と小倉さん。「3分割タイプは3人で同時作業がで

きるだけでなく、2人で作業するときにも便利です。3つ目のフロアにオイルチェンジャーなどの機器や道具を置いて、出し入れできますから。作業効率化に寄与していますね。加えて、ジャッキ要らずのピットリフトを組み合わせて、使い勝手はさらに向上。フロアリフトで下から作業をする傍ら足回り整備を進めるなど、上下同時作業に活用しているとのこと。



使い方次第で様々な作業に対応する“3分割フロアリフト”

■「ラインマスター」の導入で作業時間が半減

リフトと並んで評価が高かったのが、トータル車検ラインシステム“ラインマスター”。導入により、事務所のコンピューターと連動させて測定結果を印字することが可能になりました。「手書きだった頃に比べて、作業時間が半分に減りましたね。何より間違いがなく、スピーディーであることが最大のメリットです」(小倉さん)。正確さが問われる車検だからこそ、スピードとクオリティを両立できる“ラインマスター”が重宝されています。

■作業者とお客様に配慮した数々のアイデア

吉岡テクノセンターには、整備機器以外にもたくさんのこだわりがあります。その一つが「明るい工場」。自然光を取り入れる天窗により、蛍光灯は不要。また、各ピットの左右には、トラックのキャビンぐらいの高さに、スタジアムなどにも使われる高輝度の照明が取り付けられています。「天井からの照明では、肝心の手元がトラックやバスの陰に入ってしまう。ピットからずらして低めの位置に照明を付けることで、作業している手元を明るくできるのです。この工夫のおかげで、作業灯はほとんど使用していませんよ」(黒岩さん)。



自然光を取り入れる天窗と作業灯いらずの高輝度照明

こうした吉岡テクノセンターのアイデアは、作業環境の改善だけでなく、お客様への“おもてなし”にも発揮されています。3台のリクライニングチェアを設置した「リラクゼーションルーム」が、まさにそれです。自販機の他、テレビや雑誌なども用意され、短時間整備が終わるのを待つ間、お客様にゆっくりいただけるよう配慮されています。さらに、室内にはガラス張りの喫煙室が用意されており、分煙も完璧。整備にご満足いただくだけでなく、ご来店そのものがお客様に心地よいものであってほしいという、吉岡テクノセンターのこだわりが伝わってきました。



心地よい部屋が待ち時間をリラクゼーションに変える

福島トヨペット株式会社 いわき小名浜店

知りたい!
元気のショップの秘密

福島県いわき市小名浜岡小名字岸49-3
Tel 0246-53-2186

「FTP(frunk & true partner)」“親しみのある誠実なパートナー宣言”を企業理念として掲げ、お客様に最高のサービスを提供し続ける福島トヨペット株式会社。総社員は555名(うちサービスエンジニアは243名)、営業所は22拠点です。今回の訪問先は、ユーザー車検発祥の地といわれる小名浜に店舗を構える「いわき小名浜店」です。同社のスタッフは18名(うちサービスエンジニア9名)、保有母体は約3,200台としており、今年度(2010年1月1日～12月31日)の新車販売目標は約200台を見込んでいます。2008年10月にサービスラウンジと整備工場をリニューアルした同社では、社員一丸となってお客様の快適なカーライフをサポートしていく方針です。



店長
小野 真一 様



サービスマネージャー・課長
網川 貞広 様

好評の「ハイパー車検」をはじめ、誠実な姿勢が最上のサービスを生む

■「スマイルパスポート」の推進が顧客づくりの礎をつくる

福島トヨペットは入庫促進・車検誘引策の一環として「スマイルパスポート」を推進しています。「スマイルパスポート」とは、安全・快適にクルマにお乗りいただくために必要な点検・メンテナンスメニューをパック化し、通常価格より約35%も割引になったお得なメンテナンスパックです。スマイルパスポートは5種類のコースを設定しており、例えば新車コースは法定点検を含む6回の点検(オイル交換やオイルフィルター交換等含む)を実施しています。特徴的なのはトヨタ自動車が進推する「プロケア10」が2回織り込まれていることです。いわき小名浜店では新車契約時の約65%が「スマイルパスポート」の会員となっており、「お客様にメリットを最大限に活用していただき、恒常的な絆づくりを構築して車検までつなげていこうというのがスマイルパスポートのシステムです」(店長の小野さん)。これだけ濃密なメンテナンスメニューがお得な料金でできるパックになっていれば、点検になじみのないお客様も安心してカーライフを楽しむことができます。

■お客様の大切な時間を最優先に考えた「ハイパー車検」

トヨタの技術と工夫で、「スピード」と「安心」を両立した福島トヨペットの車検としてアピールしているのが、わずか45分で完了する「ハイパー車検」です。これは、サービスエンジニア2名と検査員1名が整備・点検を行っています。「ハイパー車検はお客様の待ち時間を短縮できるメリットに加え、工場の稼働率もアップする究極の車検であるといえますね」(小野さん)。また、お客様が待ち時間を快適に過ごしてもらうための配慮も随所に行き届いています。「サービスラウンジからは整備工場が見渡せるので、お客様は自分のクルマの整備風景を眺めることができます。サービスエンジニアにとっても良い緊張感を持ちながら作業に臨めます」(サービスマネージャーの網川さん)。



整備風景が見渡せるゆったり・快適なサービスラウンジ

■「魅せるサービス」を実現する効率化機器

整備工場内のコンセプトは、使いやすさを重視し作業動線を考慮した設計となっています。ピットには車検ラインをはじめ、3基の“ラムダリ

フト”、“アルネオリフト”、“テトラスリフト”が設置されています。床面がフラットなのでピット内はクリーンで開放的な印象を持ちます。「ハイパー車検」に大活躍の検査ラインは“ハイブリッドテスター”に、4WD車対応の“多軸フリーローラー”を組み合わせています。機器の使い勝手については、「使いやすさを実感するのは“多軸フリーローラー”です。以前は簡易タイプを使用していたのですがセットに手間がかかり、慣れないと乗り入れたクルマのタイヤに大きくズレが生じて危険でした。サービスエンジニア同、重宝しています」(網川さん)。さらに、測定結果を瞬時に表示する“ラインマスター”の導入も、作業の効率化に貢献しています。



サービスエンジニア待望の“多軸フリーローラー”は作業を効率化!

■入庫車両に合ったリフトで最適な整備を実現

リフトの使い勝手については「テトラスリフト」は一般整備に活用していますが、何よりもプレートがスムーズにスライドできるのが良いです。“ラムダリフト”は車検・法定点検・一般整備など幅広い用途に使用でき、ワンボックスカーなど重量がある車種にも使用しています」(網川さん)。その他にも、パトラー製タイヤチェンジャー“クラシックプラス”や“リブラック248”で足回り整備も強化しています。スタッフの確かな技術力が実現する信頼のサービス。同社の理念でもある“親しみのある誠実なパートナー”そのものの姿を映し出していました。



“ラムダリフト”は車検整備や一般整備に大活躍



“パトラー製タイヤチェンジャー”で足回り整備を強化

新商品

軽自動車から特装車まで幅広い車種に対応！ 1台3役のハイブリッドテスターから待望の3.6t仕様がついに登場！ ハイブリッドテスター

ABS-210S

- 従来機と同じコンパクトサイズで能力は余裕の3.6t！
パッカー車やユニック車などの架装車もラクラク検査できます。
- サイレントローラーで騒音を低減！
周辺環境に配慮し、騒音対策に取り組まれている工場におススメです。※溝切りローラー(3.6t)仕様もご用意しています。

型 式	ABS-210S
許 容 軸 重 (kg)	3600
本 体 寸 法 (mm)	W1180×D2678×H250
使 用 エ ア 圧 (MPa)	0.97



高さ250mm 薄型ボスケー 許容軸重 3.6t フルフラット

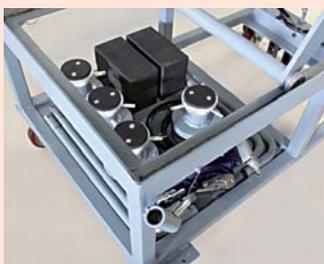


新商品

エンジン・ミッション同時脱着に対応！ 高い安全性・作業性を誇る高機能エンジンリフター エンジンリフター

AEL-500/1000

- 高重量化傾向にあるエンジン・ミッション同時脱着に対応！
- 落下防止装置(ツメ式)と過大流量遮断弁(ヒューズ弁)の安全機構を完備。操作時の危険が伴わない安全設計です。
- テーブル部にバイス取り付けブラケット(オプション)を設定。任意の高さに調節すれば、作業台としても活用できます。



余裕の収納力

置き場に困るアタッチメント(オプション)も、すべて収納できます！

基本機能充実の
スタンダードタイプ

AEL-500



能力
500kg

便利機能満載の
高重量タイプ

AEL-1000



能力
1000kg

- 左右スライド機構付き
- 廃油回収機構付き

型 式	AEL-500	AEL-1000
能 力 (kg)	500	1000
本 体 寸 法 (mm)	W750×D1580×H914	W816×D1960×H914
本 体 重 量 (kg)	236	500



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス(ボイスワープ)対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

☎ 0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。受付時間：月～金 (AM9:00～PM5:00)

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ「ANZEN Web」ではANZENの最新情報を提供しています。